

くれしんレポート

平成23年度上期の業況について

2011.4.1 ▶ 9.30



呉信用金庫

平成23年度上期 事業の概要

平成23年度上期は、東日本大震災に端を発するサプライチェーンの寸断や急激な円高などの影響により、当地域の中小企業経営、家計が一段と厳しさを増す状況の中で、お客様と接する機会を増やし、そこから得られる多くの顧客ニーズやビジネス情報を把握することで、取引先企業への経営改善支援や個人金融資産の形成など地域活性化に向けた課題解決策の提案を行いながら、お客様のサポートに積極的に取り組んでまいりました。

8月には、高屋支店をイオン高屋ショッピングセンター内に移転オープンし、土・日・祝日営業、また当金庫で初となる地域のお客様のコミュニティの場としてのギャラリーコーナー、ふれあいホールの設置など、新たな試みを開始しました。

この間、当金庫の業績は、預金積金・預り資産残高の合計額は期中120億円の増加（1.7%増）となった一方、貸出金残高は期中73億円の減少（2.0%減）となりました。収益面では、経常収益は資金収益が減少したものの債券売却益などから前年同期比6億51百万円の増収となり、また、経常利益は経費の圧縮効果もあって13億46百万円の増益となりました。

■ 預金積金

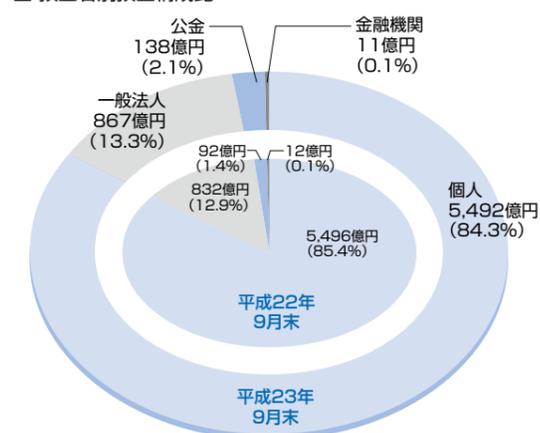
お客様の金利メリットやニーズにお応えするため、「夏の特別金利定期預金2011（愛称：夏一番）」、「懸賞品付定期預金（愛称：3本の矢）」等を販売し、地域に密着した営業活動に努めてまいりました。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の復興支援のため、お客様からお預かりした定期預金総額の0.1%相当額を当金庫が負担し、義援金として寄付する「東日本大震災復興支援定期預金（愛称：友情）」を販売しました。

その結果、期中93億円増加し、9月末残高は6,511億円となりました。



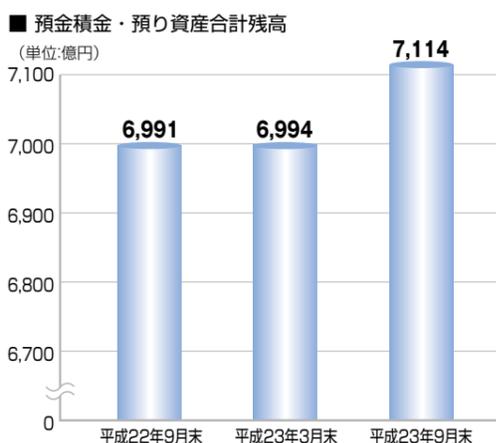
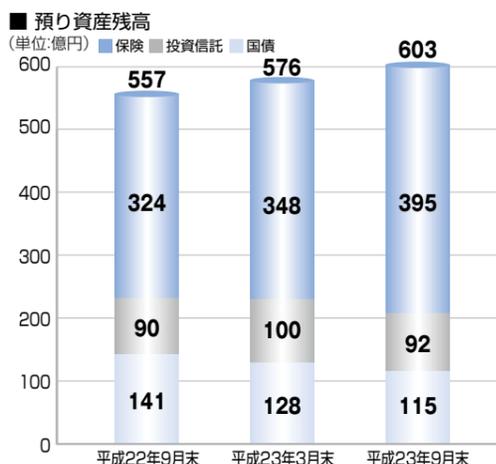
■ 預金者別預金構成比



■ 預り資産

お客様のライフステージに合わせた金融資産形成・運用をお手伝いするため、投資信託や保険商品の品揃えを充実すると共に、営業店での資産運用セミナーの開催など、積極的な営業活動を行った結果、期中26億円増加し、9月末残高は603億円となりました。

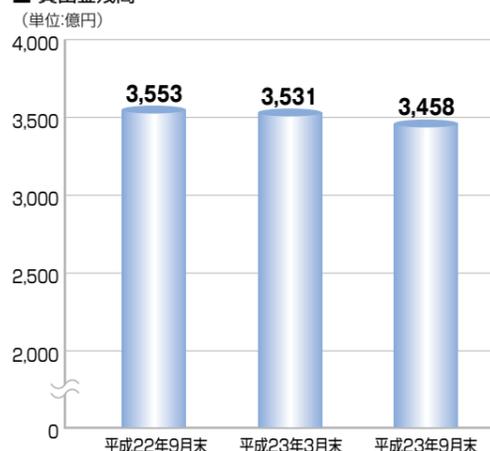
なお、お客様の立場に立ったファイナンシャル・アドバイザー機能の一層の強化に努めるため、金融商品推進担当者を営業店に23名配置しています。



■ 貸出金

長引く円高で経営環境は依然厳しい状況にある中、当金庫では、地域の「仕事をふやす・仕事をつくる」ことへのサポートに努め、法人・個人事業者のお客様には、現在の経営状況だけでなく経営者の手腕、技術力などの将来性に注目して担保・保証に過度に依存することなく、資金繰り円滑化のための資金供給に取り組んでいます。また、個人のお客様には、住宅資金をはじめ、ライフステージに沿った金融面からの支援に取り組んでまいりましたが、特に法人における資金需要が低迷したことから、貸出金は期中73億円減少し、9月末残高は3,458億円となりました。

■ 貸出金残高



■ 有価証券等

お客様からお預かりしている資金の一部は、安全性を重視し、比較的低リスクの低い国内債券を中心とした有価証券および信金中央金庫（信用金庫の中央機関）等への預け金で運用しています。上記の預金・貸出金の状況から、有価証券と預け金の合計額は期中179

■ 有価証券等残高



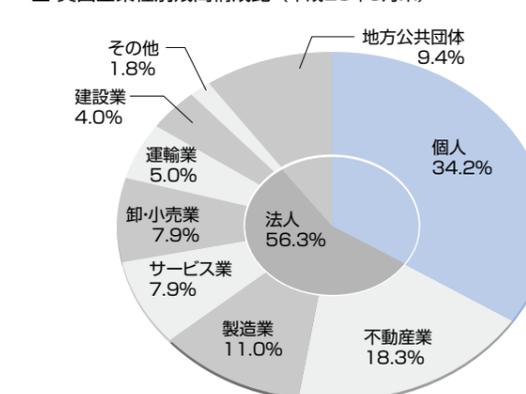
(注) 有価証券残高は、その他有価証券が時価、満期保有目的の債券および子会社・関連会社株式は取得価額で計上することとなっています。

■ 貸出金業種別残高内訳

(単位:億円)

業種	平成22年9月末	平成23年3月末	平成23年9月末
製造業	406	390	382
卸・小売業	293	271	274
運輸業	188	176	174
サービス業	309	281	276
建設業	160	155	141
不動産業	651	667	635
その他	61	72	63
地方公共団体	252	313	327
個人	1,229	1,203	1,184
合計	3,553	3,531	3,458

■ 貸出金業種別残高構成比 (平成23年9月末)



億円増加し、9月末残高は3,409億円となりました。

また、有価証券の評価損益は、債券利回が大幅に低下（価格は上昇）したものの、債券売却益（10億円）を計上したほか、株安・円高もあって期中4億円減少し9月末7億円の含み益となっています。

■ 有価証券の時価情報 (平成23年9月末)

(単位:百万円)

	取得価額 (A)	時価 (B)	評価損益 (B) - (A)
その他有価証券	140,866	141,802	936
株式	5,123	4,191	△931
債券	133,180	135,566	2,386
その他	2,562	2,044	△518
満期保有目的の債券	4,661	4,462	△198
子会社・関連会社株式	40	40	—
合計	145,569	146,306	737

■ 不良債権の状況

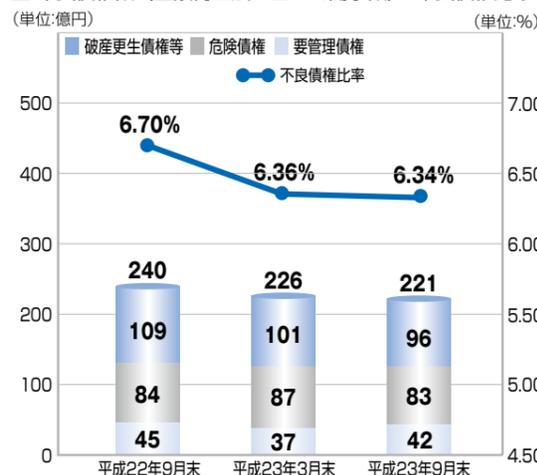
不良債権の削減に向けて、経営改善への取組みによるランクアップや計画的な回収を行ったほか、「金融円滑化法」への対応もあって、9月末の不良債権（金融再生法ベース）の合計額は期中5億円減少し221億円となりました。また、不良債権比率も期中0.02ポイント減少し6.34%となりました。

なお、こうした不良債権のうち、80.67%は貸倒引当金や担保・保証等によって保全されており、残りの約19%にあたる42億円は、自己資本（398億円）により、十分カバーされています。

■ 金融再生法開示債権 (単位: 億円)

区分	平成22年9月末	平成23年3月末	平成23年9月末
破産更生債権等 (A)	109	101	96
危険債権 (B)	84	87	83
要管理債権 (C)	45	37	42
上記合計額 (D) = (A) + (B) + (C)	240	226	221
正常債権 (E)	3,346	3,336	3,267
合計額 (F) = (D) + (E)	3,586	3,563	3,488

■ 不良債権額（金融再生法に基づく開示額）・不良債権比率 (単位: 億円) (単位: %)



■ 保全率・不良債権比率 (単位: 億円)

区分	平成22年9月末	平成23年3月末	平成23年9月末
不良債権額 (A)	240	226	221
保全額 (B)	194	189	178
保全率 (B) ÷ (A)	81.02%	83.49%	80.67%
総与信 (C)	3,586	3,563	3,488
不良債権比率 (A) ÷ (C)	6.70%	6.36%	6.34%

(注) 総与信 = 正常債権 + 不良債権

■ 損益の状況

震災の影響もあり景気回復力が一層弱まる中での急速な円高進行、また市場金利の低下の影響により、貸出金利息、有価証券利息配当金などが減少し、資金運用収益は前年同期比4億5百万円の減収となりましたが、預り資産の推進による役務取引等収益の増加や債券売却益などにより、経常収益は77億34百万円と、前年同期比6億51百万円の増収となりました。

費用面では、当期は債券や株式の売却・減損による損失があったものの、金利低下による預金積金利息の減少、貸倒実績率の変動等に伴う不良債権処理費用の減少等により、経常費用は57億10百万円と、前年同期比6億95百万円の減少となりました。

この結果、経常利益は20億24百万円と前年同期比13億46百万円の増益となりましたが、これには会計基準の変更に伴う表示区分変更の影響額（当期より貸倒引当金戻入益及び償却債権取立益をその他経常収益に計上）3億29百万円を含んでいます。

なお、本業の利益を示すコア業務純益は、主に資金利益の減少により、10億67百万円と、前年同期比2億35百万円の減益となりました。

■ 経常収益 (単位: 百万円)

区分	平成22年9月期	平成23年3月期 (通期)	平成23年9月期
経常収益	7,083	13,696	7,734

■ コア業務純益・経常利益 (単位: 百万円)



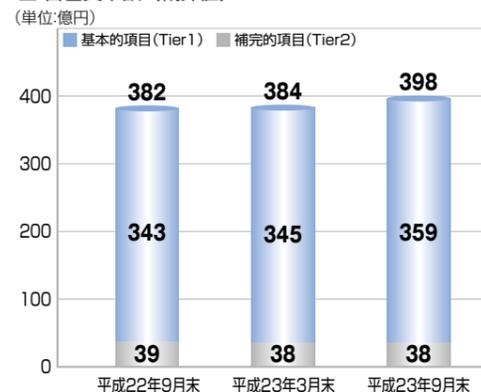
(注) コア業務純益とは、金融機関固有の収益指標である業務純益から国債等債券損益と一般貸倒引当金繰入額を控除したもので、信用金庫本来の事業活動のみの利益を示す指標です。

■ 自己資本比率（単体）の状況（概算値）

(1) 自己資本額

自己資本額は、期中14億円増加し、398億円になりました。

■ 自己資本額（概算値） (単位: 億円)



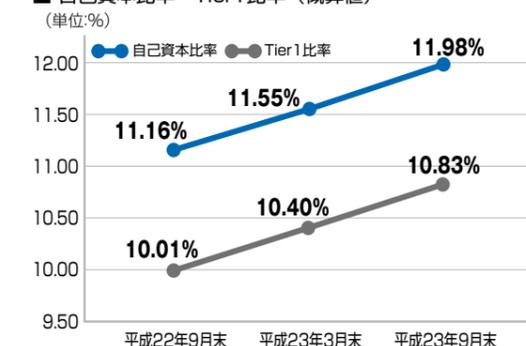
(注) 1. 信用金庫では正式な中間決算を行っていないので、自己資本額は概算値となります。
2. Tier1とは、自己資本額のうち出資金や特別積立金等の基本的項目のことをいいます。

(2) 自己資本比率

自己資本比率は、期中0.43ポイント上昇し、11.98%となりました（国内基準4%）。

また、Tier I 比率も期中0.43ポイント上昇し、10.83%となりました。

■ 自己資本比率・Tier1比率（概算値） (単位: %)



(注) 自己資本比率算出にあたり、貸出金の信用リスク・アセットについては、当金庫の定めにより概算値にて算出しています。また、オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額は平成23年3月期の計数を使用しています。そのために自己資本比率は概算値となっています。

貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	平成22年9月末	平成23年9月末
《資産の部》		
現金	5,760	6,079
預 け 金	139,735	194,396
コ ー ル ロ ー ン	411	767
買 入 金 銭 債 権	200	-
金 銭 の 信 託	500	500
有 価 証 券	185,194	146,505
貸 出 金	355,385	345,819
外 国 為 替	393	257
そ の 他 資 産	4,729	4,562
有 形 固 定 資 産	10,086	9,863
無 形 固 定 資 産	340	353
繰 延 税 金 資 産	3,134	3,616
債 務 保 証 見 返	1,962	1,695
貸 倒 引 当 金	11,788	10,823
資 産 の 部 合 計	696,046	703,593
《負債の部》		
預 金 積 金	643,465	651,101
借 用 金	5,550	5,433
そ の 他 負 債	2,662	2,854
賞 与 引 当 金	432	440
退 職 給 付 引 当 金	1,106	1,092
役員退職慰労引当金	226	243
睡眠預金払戻損失引当金	162	148
再評価に係る繰延税金負債	1,269	1,244
債 務 保 証	1,962	1,695
負 債 の 部 合 計	656,839	664,254
《純資産の部》		
出 資 金	2,465	2,541
利 益 剰 余 金	31,838	33,458
処 分 未 済 持 分	△0	△0
会 員 勘 定 合 計	34,303	35,999
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	2,152	643
土 地 再 評 価 差 額 金	2,750	2,695
評 価 換 算 差 額 等 合 計	4,903	3,339
純 資 産 の 部 合 計	39,206	39,338
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	696,046	703,593

損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	平成22年9月期	平成23年9月期
経 常 収 益	7,083	7,734
資 金 運 用 収 益	6,027	5,621
(うち貸出金利息)	4,463	4,216
(うち預け金利息)	364	317
(うち有価証券利息配当金)	1,147	1,031
役 務 取 引 等 収 益	648	683
そ の 他 業 務 収 益	365	1,095
そ の 他 経 常 収 益	42	334
経 常 費 用	6,406	5,710
資 金 調 達 費 用	619	471
(うち預金積金利息)	570	428
役 務 取 引 等 費 用	399	409
そ の 他 業 務 費 用	13	139
経 常 費	4,352	4,336
そ の 他 経 常 費 用	1,020	353
経 常 利 益	677	2,024
特 別 利 益	328	-
特 別 損 失	6	0
税 引 前 当 期 純 利 益	999	2,023
法人税、住民税及び事業税	327	665
法 人 税 等 調 整 額	△44	15
当 期 純 利 益	715	1,342

(注) 信用金庫においては中間決算が義務づけられていないため、記載金額は、本決算に準じて算定していますが、一部の項目について簡素化して記載しています。
「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、平成23年9月期の「貸倒引当金戻入益」および「償却債権取立益」は、「その他経常収益」に計上していますが、平成22年9月期については避及処理を行っていません。

本紙に掲載している計数は、原則として単位未満を切り捨てるのうえ表示しています。

- 4月 ● 「くれしん育英会」奨学生11名採用〔4日〕
- 5月 ● 東日本大震災復興支援定期預金「友情」取扱開始〔2日から9月30日まで〕
 - 第2回サンフレッチェスポンサーゲーム開催〔7日〕
 - 第11回くれしんトップセミナー開催〔19日〕
 - 広島県農業信用基金と提携した農業事業者向け融資商品「農力サポートローン」販売開始〔20日〕
- 6月 ● しんさん震災復興支援定期積金「仲間」取扱開始〔1日から9月30日まで〕
 - 第86期通常総代会開催〔10日〕
- 8月 ● 海外留学生を対象とした「もっと知って呉ツアー」実施（台湾政治大学大学院生14名・INU学生セミナー参加者11名参加）〔10・11日〕
 - 高屋支店移転オープン〔22日〕
 - 中学生職場体験「キャリア・スタート・ウィーク」実施（18校43名参加）〔22～26日〕
- 9月 ● インターンシップ研修生受け入れ（11校31名参加）〔5～9日〕
 - くれしん海外旅行（スペイン・ポルトガル）実施〔1班12日～22日 2班19日～29日〕
 - 震災ボランティア活動に第1班15名参加〔20～22日〕



第2回サンフレッチェスポンサーゲーム



高屋支店移転オープン

地域活動への取組み

第54回呉みなと祭

4月29日、第54回呉みなと祭が開催され、今年は「がんばろう日本」の横断幕を先頭に、それいけ!アンパンマンの花車や御輿でパレードに参加しました。



第19回くれしん文化講演会

5月11日、元読売テレビ解説委員長で(株)大阪総合研究所所長の辛坊治郎さんと、元日本女子バレーボール代表選手の中田久美さんをお迎えし、講演会を開催しました。



第10回地域活性化支援制度「グッドラック」助成先決定

6月23日、アクティブベースくれによる「グッドラック」の目録贈呈式が行われました。今回は、24先の応募の中から7先を決定し総額723万円の助成をいたしました。



第16回くれしんママさんバレーボール大会

7月16・17日、くれしんママさんバレーボール大会を開催しました。大会には、地域の部20チームとクラブの部23チームの645名の選手が参加され、熱戦が繰り広げられました。



第17回くれしん少年サッカー大会

9月10・11日、くれしん少年サッカー大会を開催しました。大会には、呉市、竹原市、東広島市、江田島市、安芸郡坂町の24チーム、444名の選手が参加され、熱戦が繰り広げられました。



当金庫の概要

(平成23年9月30日現在)

■ 設立：大正14年9月

■ 店舗数：47店舗（うち3出張所）

■ 本店所在地：呉市本通2丁目2番15号

■ 店舗外ATMコーナー 40カ所 ■ 常勤役員数：773名



呉信用金庫

TEL (0823) 24-1181 <http://www.kure-shinkin.jp/>

平成23年11月発行（本紙は再生紙を使用しています）